

## 第五回 田原本町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時 : 平成23年6月20日(月) 14時~15時30分  
場 所 : 田原本町役場 3F 301・302会議室  
出席者 : 石本会長、松田(明)委員、取田委員、平井委員、高村委員、倉橋委員、梅谷委員(代理:大久保様)、岩橋委員、葛本委員、西本委員(代理:本間様)、佃委員、吉田委員、山田委員(代理:上田様)、鈴木委員(代理:辻本様)、松田(和)委員、北浦委員、中西委員、奥谷委員(代理:東野様)、橋本委員(代理:小泉様)、東委員(代理:能登様)、荒委員、西谷委員(代理:岡川様)

### 1 事務局による開会

石本会長新任の紹介、挨拶。

### 2. 平成22年度事業・会計報告及び会計監査について

- 資料1「平成22年度田原本町地域公共交通活性化協議会 事業報告書」および、資料2「平成22年度田原本町地域公共交通活性化協議会 会計報告書」について、事務局より説明。
- 資料3「平成22年度田原本町地域公共交通活性化協議会 会計監査報告書」について、監事より説明。
- 平成22年度で駅前活性化に関して実施した事業について教えて欲しい。  
→公共交通利用促進及び駅前活性化に向けたマップづくり事業を実施。また、この事業は、ただ、マップを作るだけでなく、マップを一つのアイテムとして、駅前の元気な方に集まっていただいて、公共交通や駅前の活性化に関することを本音で話し合える場を提供することを一番の目的としている。
- マップ作り運営補助委託料(H22決算額 2,016千円)の使途、成果について教えて欲しい。  
→使途は、コンサルへの委託料である。現在までにワークショップを5回開催し、今後も引き続き実施していき、第1回目のマップの発行まで係っていたく予定である。
- ワークショップを飲食店で実施しているのはなぜか。  
→町内にこのような活動があることを住民に知ってもらうため、あえて、実施している。また、ここでの飲食代は参加者の個人負担である。
- デマンドタクシーについて費用総額と利用者一人当たりの費用および費用対効果について教えて欲しい。  
→費用総額は、デマンドタクシー運行委託料10,490千円、停留所看板、ポスター等430千円、併せて11,000千円弱である。1人当たりの単価は、この金額を

1,151人で割った金額約9,500円となる。費用対効果については、現時点では住民の満足度などの効果の検証ができていない状況である。

- 一人当たりの単価9,500円は、高すぎるのではないか。  
→経費については、初年度ということもあり、初期投資も含まれている。23年度については、経費の見直しも実施する予算になっている。また、この事業は現在実証運行中であり、3年間の結果をみて、将来的に最適な方法を、また、ご議論いただきたい。
- デマンドタクシーの停留所について、停留所の表示がない停留所があるのはなぜか。  
→停留所については、各自治会にお願いをし、表示できるところには表示いただいている。自治会によっては表示できない場所もあり、各自治会にお任せをしている。
- 平成22年度事業・会計報告及び会計監査について、異議は無く、承認された。

### 3 平成23年度事業計画・予算（案）について

- 資料4「平成23年度田原本町地域公共交通活性化協議会 事業計画（案）」および、資料5「平成23年度田原本町地域公共交通活性化協議会 予算（案）」について、事務局より説明。
- 23年度検討事項について、検討ポイントについて教えて欲しい。
  - ①ももたろう号の予約の方法等について。
  - ②国保中央病院線の利用促進に関して、その費用対効果等について。  
→ ①現在利用日の7日前から前日午後4時までとなっている予約を、タクシーとの住み分けを考慮しながら、できるだけ利用しやすい方法を検討する。  
②現在、その需要や効果等の予測が出来ていない状況であり、それらを含めて費用対効果を検討していく。
- 観光乗合タクシーの経済的な波及効果について、土産物店や飲食店等との連携を今後考えていかないのかどうか教えて欲しい。  
→今年度の検討テーマとして「食・お土産」を挙げているように、これらの店舗との協力は必要と認識している。今後、双方にメリットがあるような連携の仕方を模索していきたいと考えている。
- マップづくりの第2回ワークショップの内容について、「歴史的なものは除く」とあるが、歴史的な町並みを活かしたマップづくりはしないということか。  
→歴史的な部分は、最初に持ってこないという意味でご理解いただきたい。第1回については、今までに取り扱ったことのないテーマ「昭和レトロ」と決まった。2回目以降は未定である。
- 公共交通に比べ、駅前活性化に関する予算が少なく、偏った事業の仕方のように感じるがどうか。また、田原本駅前活性化計画に基づく事業を何も行ってないよう

に思えるがどうか。

→公共交通のように目に見える事業展開と違い、まちづくりは、大きなテーマであり、1年2年では形になって目に見えてこないということはある。

駅前活性化計画は、駅前の住民との協働により進めていく計画と考えており、マップづくりは、その基礎となるような集まりと位置付けしている。このような基礎的な集まりを、今後育成し、大きくしていき、計画を進めていけるようにしていきたいと考えている。

○ 町家のエリアの活用についてどのように考えているのか。

→この協議会は、①町内の交通弱者に対する地域の公共交通の補てん・確保、②駅を中心とした町域の活性化、この2点がメインである。これに、まちづくりや観光等を付加して考えていく必要があるが、今のところそこまで手を広げられてはいない。この3年間でどこまでできるかは、他のセクションも含めて検討していく必要がある。

町家エリアについては、観光タクシーの意見の中にあつた「歩いて散策できるコース」の中に組み入れることも可能と考えられ、今後の検討課題である。

○ 平成23年度事業計画・予算（案）について、異議は無く、承認された。

#### 4 閉会